

## 「驚き・発見！ねん土でつくる“夢の家”」

- 日 時:平成 26 年 8 月 2 日(土)13:30～17:00
- 会 場:神戸市埋蔵文化財センター3 階研修室、1階展示室
- 参加者:神戸市内の小学生とその家族

神戸支部すまいスクール委員会恒例の夏休み親子セミナー。今年もまた「驚き・発見！ねん土でつくる“夢の家”」をテーマに開催いたしました。当日の様子をご紹介します。

### ◆住まいの事前学習「大昔の人の住まい」

当日の事業は、神戸市教育委員会文化財課学芸員の黒田先生による講義と会場の展示物見学でスタート。日本における古代人の住まいの原型を、神戸と各地で発見された埴輪や住まいの発掘事例や復元事例のスライド、及び会場内の展示物を目の前に勉強しました。「子供たちに少しでも興味を持ってもらえたら」との講師の思いが伝わる、楽しく工夫されたスライド講義や展示物解説は、私達企画者にとってもいろんな意味で勉強になりました。



### ◆「夢の家づくり」事前学習

「夢の家工作」の前座として、委員会スタッフによる「世界の家・いろいろ」では、人の住まいの原型となる生き物の住まいや世界遺産の家、子供達の興味を引きそうな世界中から集めた楽しいユニークな家の実例をスライドで紹介。本日の工作の、またこれからの子供達の建築への夢や発想を広げるヒントになってくれればいいなと思って用意したものです。続いて、工作の主材料となる粘土を配布し、飾り付け用の色粘土や貝殻、木の葉などを並べ、また、工作用具の使い方や注意点について説明した後、本番の工作をスタートしました。

### ◆スタッフも夢中の「夢の家」工作

夢の家づくりに際し、まずは「設計図づくり」として、完成の姿を「絵」としてスケッチしました。アツと言う間にスケッチを書き上げる子供達のとまどいのなさに驚くばかりでした。それを手掛かりに工作を始めましたが、設計図に忠実に作り上げる子、いつの間にか異なった姿に苦心する子、時間に追われながらひたすら完成を目指す子、親のアドバイスも適度に自分の想いを貫く子など、一生懸命に夢の家に取り組む子供達の姿は、いつにも増して熱のこもったものがありました。



工作終了後は、完成式として夢の家を並べ、「夢の家の街」をつくりました。ユニークな家の連なりは意外にも違和感もなく、それらしい街並みとなりました。その後、子供達一人一人から完成した「夢の家」の工夫やおもいを発表してもらいましたが、ここでも、大きな子も小さな子も、全員がしっかりと自己主張する姿に、またまた感心する私でした。最後は、みんなに「夢の家博士認定証」を授与し閉会しました。

今回もまた、「夢の家」に取り組む子供達の反応にたくさんの「驚き・発見」がありました。例年より参加者が少なかったものの、終了後の顔はみんな満足した表情で、楽しい時間をもっていただくことが出来たようで、事業実践の楽しさを肌で感じる事ができ、嬉しい時間をいただいた充実の一日でした。

(M. K記)

